



20<sup>th</sup>  
Anniversary

塔南の園



## 花鳥ユニット



### かわらない毎日の中に刺激をプラス!!

花鳥ユニットでは、普段の生活にプラスの刺激を感じてもらうことを大切にしています。気候の良い春や秋は動物園や水族館、近隣のイオンでの外食、近くの公園での散歩等、ひとりひとりが楽しめる外出イベントを企画! 季節に合わせた「刺激のある生活」を提案し、施設理念でもある「今、この時を大切に」を実感できるケアを目指しています。



ご入居者の皆様に「刺激のある生活」を提案!



季節ごとの充実したイベントが自慢のユニットです!

## 風月ユニット



どんな時でも笑顔が  
一番! 今日も笑顔で  
「はい、チーズ♪」

はい、チーズ♪

### 笑顔あふれる明るいユニット!!

いつも元気で笑いの絶えないユニットです。フロアにはいつも楽しい声があふれています。

ご入居者の皆様も、若い職員に負けじと元気ハツラツ!

施設の理念でもある「今、この時を大切に」をモットーに、ご入居者の皆様が  
笑顔になれる瞬間を少しでも多く持てるような関わりを大切にしています。

## 小春日ユニット

お互いが気持ちよく  
毎日楽しく過ごせるよう  
“思いやり”を大切に  
していきます!



### ご入居者・職員がお互いに元気になれるユニット!!

ご入居者の皆様が職員を笑顔にしてくださる分、職員も皆様を笑顔にするため精一杯頑張っています。ショートステイご利用者の受け入れも行っています。これからもご入居者の皆様の想いに応えていけるよう、皆様の声にしっかりと耳を傾け、ひとりひとりが歩まれてきた人生を大切にするユニットであり続けます。

笑顔が一番♪



## 貴乃花ユニット



心温まる  
お声がけを心がけ、  
楽しい毎日を送れるように  
サポートしております。

### ほっこりと、温かい気持ちになるユニット!!

「心温まるお声がけ」を大切にしています。淋しい時、心細い時、どんな時も温かい気持ちになれるよう、本当の家族のように声を掛け合っています。個性豊かなご入居者の皆様ひとりひとりが、いきいきと楽しい毎日を送れる日々のサポートがモットーです。クラス活動やイベントの開催が多い「貴乃花ユニット」は、今日も1日楽しく賑やか!



## 如月ユニット



とてもあたたかい  
アットホームな  
ところが自慢です♪

### 「明るく笑顔で元気よく」そしてなにより気楽に自分らしく!!

ひとりひとりが自分らしい生活を過ごしていただけるアットホームなショートステイ専用のユニットです。ご利用者の皆様から、「知り合いの家に遊びに来ている時のような雰囲気、気楽に過ごせるユニット」と、嬉しいお言葉をいただきます。

時には、「あんたもっとしっかりせなあかん!」と職員に喝を入れてくださることも。家族や親戚のように、お互いの心が近くに感じるそんな素敵なユニットです。



## デイサービス



### 異世代交流!若さの秘訣は子ども達!!

児童館が併設されているため、子ども達との交流が活発なデイサービスです。

将棋倶楽部では、ご利用者の皆様が子ども達の指導者となります。

学校の宿題を教えて頂くことも。また、音楽交流会等、地域交流も活発に行っています。

「人」を元気にするのは「人」です。これからも世代を越えたつながりを大切に、

ご利用者の皆様が笑顔で楽しく過ごせるケアを目指します。

デイサービスでは  
世代を越えたつながりを  
大切にしています♪



スタッフたちも子育てをしながら復帰しています

事務所と医務室の  
紹介です！

## 事務所



### 支えあい・助けあい!!

事務所には、事務員・生活相談員・管理栄養士・ケアマネジャー等  
11人の職員が連携を取って仕事をしています。  
11人中9人の職員が介護福祉士の資格を所有。  
勤続年数も平均13年とベテラン揃いの部署です。

私たちも医務室の  
一員です！

## 医務室



### いつも心にナイチンゲール!!

看護師6名、機能訓練指導員1名の計7名で、  
明るく、楽しくご入居者の皆様の健康管理を行っています。  
ご入居者の皆様の笑顔が原動力です。



## 南事務所



火曜・金曜、朝8時30分から  
駐車場を開放して、  
地域の皆様と一緒に  
ラジオ体操をしています！

## 目指すは地域との融合!!

2011年11月に15年間お世話になった「塔南の園」4階から大国町に移転。  
総合ステーションとして、居宅介護支援・訪問介護・夜間対応型訪問介護・訪問看護を  
併設しています。ケアマネジャー・ヘルパー・看護師が力を合わせ、「在宅の24時間365日を  
支えます」を目標に、「地域に根ざした事業所」となれるように頑張っています。

# 塔南の園児童館

## 社会で子どもを育てる 子どもが社会を創る

赤ちゃん親子、小学生、中高生、障がいのある子やない子、地域のおじさん、おばさん…

人との出会いとつながりの中で、子どもが育つ。  
児童館はそんな場となるように活動しています！

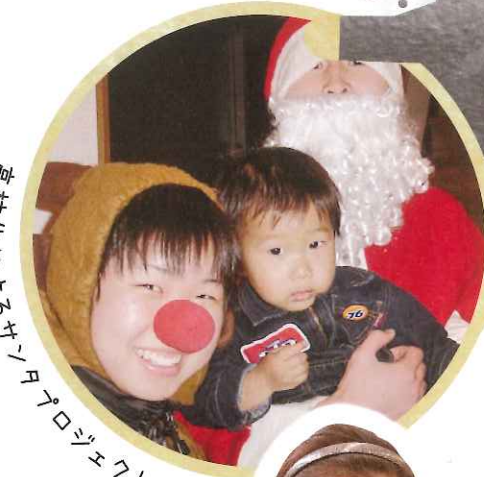
児童館は、いつも  
ボランティア募集中！！  
多様なスタッフの協力に  
よって運営しています！



将棋のどっこあそび！！



おばあちゃんと一緒に勉強♪



高校生によるキャンププロジェクト！

塔南の園児童館が開館した20年前からよく遊びに来させてもらいました。夏祭りの手伝い、配食活動、「ヨルのジドウカン」等にも参加していました。今は子どもと一緒にベビーマッサージやマタニティヨガに参加しています。とても居心地が良く、お母さんたちや職員さんとお話すると、明るい気持ちになれます。これからも10年、20年と笑顔あふれる児童館であって欲しいと思っています。

土井 永里香さん



### 0.1.2.3 のじどうかん

午前中の主役は乳幼児親子さん

親子のクラブ活動や、お母さんのグループ活動もたくさん。

親子の出会いとかかわりの場になっています！



妊婦さんから利用できます！

ママゴスペル♪

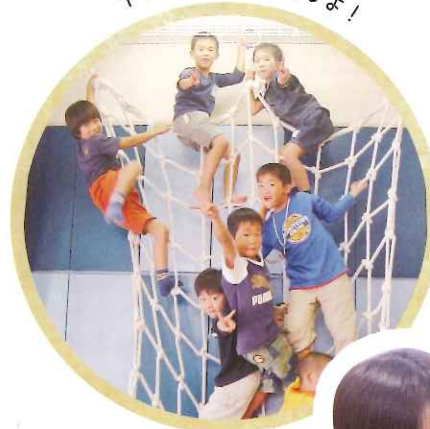


### 遊びに、いっしょうけんめい

誰でも遊びに来られる児童館。

小学生はたくさん遊んで、ケンカもして、大きくなっていきます。

マステックもあるよ！



学童クラブで、ごはんづくり♪



3児の母です。一人目がお腹にいる頃に参加したマタニティヨガが始まりで、幼児クラス、ダンス、ゴスペル等、いろいろな活動に参加しています。塔南の園児童館なくして私の子育ては語れません(笑)。これからもあらゆる年代の人にとっての拠り所であってほしいと願っております。

仲 恵子さん



# 塔南の園、「いままで」と「これから」



20年前の中島さん

- 所属 特別養護老人ホーム ケアワーカー
- 名前 **中島 真也** なかじま しんや
- 入社日 平成13年3月20日

## いままでとこれから

### ・20年前は何をしていましたか？

兵庫県赤穂市にある関西福祉大学の学生でした。

### ・20年前の将来の夢は？

バスの運転手を夢見ていました。大学4回生の時に大型2種免許(大型バス免許)を取得しました。

### ・10年後にどのような職場にしたいですか？

夢や希望を語れるような職場にしたいです。

### ・10年後の自分へのメッセージ

容姿はだいぶ変化しているでしょうが、健康で仕事が続けられていたら文句なし。



20年前の村山さん

- 所属 南事務所 ケアマネジャー
- 名前 **村山 よし子** むらやま よしこ
- 入社日 平成4年10月1日

## いままでとこれから

### ・20年前は何をしていましたか？

チーフヘルパーとして南部事務所に勤務。母の急死。それまでの人生で一番悲しい経験でした。

### ・20年前の将来の夢は？

ヘルパーさんやご利用者の皆様と関わるのが楽しく、とてもやりがいのある仕事だったので、ずっと続けていきたいと思っていました。

### ・10年後にどのような職場にしたいですか？

職員が楽しく安心して働き、ご利用者の皆様や地域の皆様に必要とされる協会であり続けてほしいと願っています。

### ・10年後の自分へのメッセージ

仕事を通じて人生の先輩達の生き方のお手本を見せていただきました。年をとっても気持ちは若く、背筋を伸ばし、前を向いていきたいです。



20年前の森本さん

- 所属 特別養護老人ホーム ケアワーカー
- 名前 **森本 友華** もりもと ゆか
- 入社日 平成27年4月1日

## いままでとこれから

### ・20年前は何をしていましたか？

生まれたばかりの赤ちゃんでした。

### ・20年前の将来の夢は？

生まれたばかりですので、保育園児の時の夢を…その頃は歌手になりたかったようです。

### ・10年後にどのような職場にしたいですか？

今以上に笑顔の溢れる職場になってほしいなと思います。

### ・10年後の自分へのメッセージ

自分の信念を曲げずにいてください。

## (私たちの20年前と10年後)



20年前の川端さん

- 所属 塔南の園 児童館 児童厚生員
- 名前 川端 昭子 かわばた あきこ
- 入社日 平成8年12月1日

### いままでとこれから

#### ・20年前は何をしていましたか？

塔南の園児童館の児童厚生員でした。

#### ・20年前の将来の夢は？

職員が産んで育てられる子宝園になるように、職場の人間関係が良好になればという夢がありました。

#### ・10年後にどのような職場にしたいですか？

「子育てしながら仕事を続けられる職場環境」の実現が、ご利用者の皆様・職員ひとりひとりにとっても大切なことだと思います。これからも一層仲良く、やりがいのある職場の雰囲気作りを目指していきたいです。

#### ・10年後の自分へのメッセージ

夢に向かってよくがんばってきたね。

## 総合福祉施設塔南の園のあゆみ

平成 8年12月	社会福祉法人京都福祉サービス協会としては初の総合福祉施設(特別養護老人ホーム、ショートステイ、デイサービスセンター、在宅介護支援センター、ホームヘルス事業所、児童館)として開設。
平成 9年 8月	第1回「塔南の園夏祭り」を開催。
平成 9年12月	第1回「塔南祭」を開催。
平成10年 2月	「塔南の園福祉後援会」を結成。
平成10年10月	夕食の「配食サービス事業」を開始。
平成11年 1月	昼食の「配食サービス事業」を開始。
平成11年 5月	デイサービスセンターを365日営業開始。
平成12年 4月	デイサービスセンターの利用定員を21人から30人に増員。
平成13年 6月	デイサービスセンターの利用定員を30人から35人に増員。
平成15年 5月	夕食の配食サービス事業を一部「塔南の園児童館配食ボランティアチーム」に委託。
平成23年11月	塔南の園事務所を大國町に移転。事業所名を南事務所に変更して再スタート。
平成24年10月～平成25年1月	事務所移転後の4階及び浴室の大規模改修工事。(個室及び個浴の設置)
平成25年 2月	4階に10床の個室を増床し、ショートステイの利用定員を6人から16人に増員。
平成26年11月～平成27年3月	2階、3階の居室及びトイレの大規模改修工事。



# 塔南の園、開設



平成8年12月に開設した総合福祉施設塔南の園は、特別養護老人ホーム（短期入所を含む）、デイサービスセンター、在宅介護支援センター、ホームヘルプ事業所、児童館を併

設し、在宅福祉サービスに加え、施設福祉サービス・児童福祉を担うことで、当協会が総合的な福祉事業を始める第一歩となった礎の施設であります。

ここに20周年を無事迎えることができましたのは、ひとえに、ご利用者、ご家族の皆様をはじめ、地域の皆様、関係機関・各種団体の皆様のお力添えの賜物と心より感謝いたしております。

昨今、社会福祉法人の在り方が問われ、大きな制度改革がなされようとしています。しかし、私ども社会福祉法人の基幹的な役割は何ら変わるものではありません。日常生活・社会生活上の支援を必要とする人に対し、地域社会の一員として自立した生活を営むことを支援することにあります。

ここ塔南の園では、今日まで歴代の施設長をはじめ職員一同、「今、この時を大切に」を施設の運営理念として、何よりも、ご利用者、ご家族の方、地域の皆様とのふれあいの時を大切にしながら、個人の尊厳を保持し、より良い福祉サービスの提供に努めて参ったところであります。

20年という歳月を積み重ね、これまで築き上げてきたものを大切にしながら、より地域に密着し、愛される施設になるよう努め、職員一同さらなる研鑽を積み、一人でも多くの皆様の「暮らしに笑顔と安心を」お届けして参る所存です。

今後とも変わらぬご理解・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

社会福祉法人 京都福祉サービス協会  
理事長 田邊 真人



開設20周年おめでとうございます。

思い起こせば、もう20年も過ぎ去ったのかと思うと月日の経つのは早く、改めて驚いています。

20年も前のことですので記憶が定かではないですが、そのころの高齢化率は15%程度だったと思いますが、それ以前から日本は平均寿命の伸長や低い出生率を反映して、少子高齢化社会に突入すると予測されていました。そのような時代の背景の中で、南区（九条塔南学区内）に特別養護老人ホームと児童館ができることは、地域としても今後の福祉の充実につながる施設だと思った記憶が残っています。

その後、開設後から地域も施設の福祉活動を後援し、高齢者と児童の福祉の推進に寄与し、少子高齢化を迎えている地域社会に福祉の輪を広げる目的で、「塔南の園福祉後援会」が九条塔南学区自治連合会や各種団体協議会等を中心に構成され現在に至っています。

その中でも、特に年1回開催される「塔南の園夏まつり」は、施設と地域が一体となって開催しており、大人も子どもも地域の皆様が一室に集まって楽しめる、今や地域の風物詩となっています。

今後も後援会として様々な活動を通して地域社会に貢献していく所存ですが、それには施設の協力が不可欠です。地域の発展のためにも今以上にご協力をお願いするとともに、更なる施設の発展を心よりお祈り申し上げます。

塔南の園福祉後援会  
会長 水口 勇誠



開設20周年おめでとうございます。

平成8年12月に開設されて早20年、時の流れ、月日の経つのは早いものです。

当時この地域は、南区でも京都の南の端とされていました。しかし、全国でも有名な東寺があり、また当学区内には南区役所や南警察署、施設のそばには南消防署や市民防災センター、大きな企業もあり、今では南区の中心的地域です。

そのような地域において、20年前に総合福祉施設塔南の園が開設されました。開設の2年ほど前から、地域への事業概要の説明や意見交換等協議を重ねながら開設に至ったと聞いています。特に、高齢者施設と児童館が併設される施設はあまり例がなく、賛否両論があったようですが、今では異世代交流を促進する意味でも、地域のニーズにマッチした、なくてはならない施設となりました。そこに携わっている職員の皆様や関係者の方々のご苦勞は計り知れないですが、当連合会としても何か手助けをせねばならないような気にかられます。

現在大きな行事のひとつである「塔南の園夏まつり」を中心に協力していますが、広報誌や回覧板等で確認する限り、施設の取り組みが地域にうまく溶け込んでいるように思います。今後も地域の発展にお力添えをお願いするとともに、少子高齢化の問題等含め施設として社会福祉法人として福祉の充実に貢献していただきますようお願いいたします。

九条塔南学区自治連合会  
会長 五味 賢

# 20周年を迎えて



平成8年12月1日に開設以来、介護保険制度の施行や制度変更の波を受けながらも、「総合福祉施設塔南の園」が開設20周年を無事迎えることができました。これ

もひとえに、ご利用者の皆様をはじめご家族の皆様、地域の皆様方等、多くの方々のお力添えの賜物と感謝いたしております。

さて、20年前と時代は大きく変わっています。高齢社会から超高齢社会へと急速な進行や、施設が開設した平成8年は措置制度の時代でしたが、平成12年に介護保険制度が施行され時代が一変しました。特に事業運営につきましては、介護保険制度の見直しの都度積極的な対応を心掛け、「選ばれる施設」となるよう各種サービスの充実を図ってまいりました。また、開設以来施設が目指してきた「地域の高齢者福祉の拠点施設」として、心身の機能が低下しても住み慣れた地域の中で暮らしていきたいという願いに応えられるよう、職員一同地域に開かれた運営を行いつつ、ご利用者の皆様お一人おひとりに満足いただける質の高いサービスの提供に努めてまいりました。

そして20年を迎え、2025年問題や認知症高齢者・独居高齢者世帯の増加、介護人材の不足、人口の減少等々、さまざまな問題を抱えています。今後もより一層地域に根差した施設になるよう努めるとともに、諸先輩の皆様が築きあげた施設の歴史を大切に、職員一同さらなる研鑽に励み、地域の皆様に一層お役に立てるよう努めてまいり所存です。今後とも皆様方の温かいご支援と、変わらぬご指導を賜りますようお願い申し上げます。

総合福祉施設塔南の園  
施設長 下岡 悦男



児童館で遊んだ子ども達も大人になり、今度は我が子連れて遊びに来ることも当たり前ようになってきました。「あの時は、ほんまに面白かった!」「めっちゃめ

ちゃ叱られたの覚えてるでー」など、大人になった子ども達と話をする、子ども時代に児童館で共に楽しんだことも、大喧嘩をして大変だったという事も、今は大切な人生のエピソードとして、楽しくふりかえることができます。

児童館は0歳から18歳になるまでの子どもとその保護者に寄り添いながら活動をしています。また、塔南の園児童館は京都市では2番目にできた高齢者施設との複合施設でもあります。新米の親を先輩の親がそれとなくサポートする。大きい子どもが小さい子どもの遊び相手をする。それを地域の大人やお年寄りも暖かく包み込む。そんな昔ながらのつながりを、現代の感覚で生み出せたら、という思いで活動を続けてきました。

地域の皆様にも支えていただきながら、20年の間、本当に様々な出来事があり、たくさんのエピソードが生まれました。うまくいったことも、うまくいかなかったことも含め、児童館での遊びや生活の場は社会の縮図であり、子どもは多様な人とのかかわりの中でこそ育つのだ、ということを実感しています。

現在、子どもの育ちや家族をめぐる課題は複雑化し、社会の課題としても問題提起をされています。そんな中で「地域の中にある子ども達の育ちを支える施設」としての児童館を、次の20年も地域の皆様、子ども達と共にワクワクしながら創っていきたく思います。

塔南の園児童館  
館長 池田 英郎



開設20周年おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

南事務所は、「塔南の園事務所」として、15年間「塔南の園」の4階にお世話になり、5年前に「南事務所」として現住所に移転いたしました。

仕事の終わりに4階の窓から見えるライトアップされた東寺の美しさは、今も目に焼き付いています。思い出すのは、小学生がご入居者の方に宿題の本読みを聞いていただいている姿、真夏の児童館前のベビースクールで歓声をあげる子ども達とそれを眺めるご入居者の方の優しい顔。配食を持って元気に出かける高校生の姿。ボランティアの方と一緒に洗濯物を畳む和やかなご入居者の方の笑顔。「夏祭り」「塔南祭」の活気。

塔南の園は人と人の出会いとつながりを大切に、地域の方を含めて世代を超えて交流ができる安心の場所です。優しさと思いやりにあふれた施設だといえるでしょう。

少子高齢化が進み、介護保険の制度もまた大きく変わろうとしています。が、私達社会福祉に携わる者として変わらないのは、ご利用者の方々の視点に立ち、ご利用者の方々に寄り添う気持ち、より安心・安全な生活を保障していくという役割です。

これからも同じ地域の中で、高齢者や地域住民の「暮らしに笑顔と安心を」届けることができるよう共に邁進してまいりたいと思います。

今後とも、「塔南の園」のますますの発展を祈念いたします。

京都福祉サービス協会 南事務所  
所長 齋藤 純子

社会福祉法人京都福祉サービス協会

総合福祉施設 塔南の園

住 所 〒601-8445 京都市南区西九条菅田町4-2

T E L 075-662-2731 FAX 075-662-2735

H P <http://www.tounan-no-sono.or.jp>

